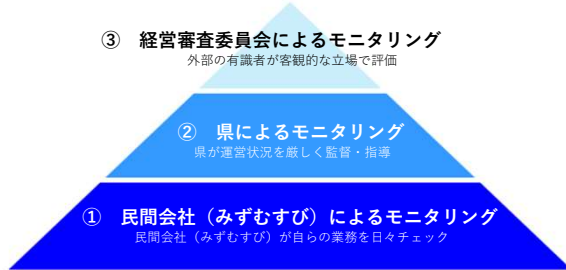




# みやぎの水道、未来へつなぐ 宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）

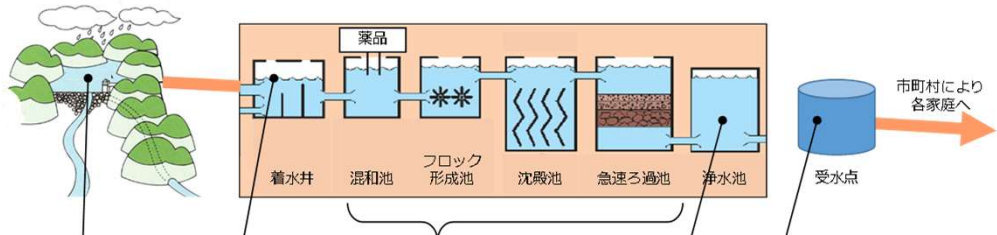
## 5. 事業の監視体制

■ 海外事例の教訓を踏まえ、適切かつ確実な事業運営を確保するため、「三段階のモニタリング」により、水質や民間会社の経営、事業の継続性など厳しく監視



## 6. 水質検査体制

■ 水質は、民間会社が従来よりも頻度・項目を増やして実施し、安全性を確保  
■ 県は、水道法に基づく水質検査や定期的なモニタリング及び抜き打ち検査により水質を監視  
※検査結果は、毎月、県・民間会社のホームページに掲載



	水源	原水 (浄水場入口)	処理工程水 (ろ過池)	浄水 (浄水場出口)	給水柱水（松島受水点） 水道法に基づく水質検査項目等
従前 (※1)	県 2.6項目	県 2.6項目	県 1.5項目	県 2.5項目	県 6.9項目
現行 みやぎ型 (※2)	運営権者 2.6項目	県 4項目 運営権者 2.6項目 合計 2.6項目 (従前の体制から2項目増)	運営権者 1.5項目	県 1.7項目 運営権者 8.6項目 合計 2.5項目 (従前の体制から4項目増)	県 6.3項目 運営権者 1.7項目 合計 8.0項目 (従前の体制から1.1項目増)

※1 令和3年度 ※2 令和4年度

## 7. 水道料金等改定の透明性確保

■ 海外事例の教訓を踏まえ、水道料金等（※）の改定は、これまでと変わらず県と市町村による協議を経て、**県議会の議決により決定**  
■ 今後も5年に1回を基本として定期改定を実施  
■ 民間会社の収入及びその改定ルールは、実施契約書に規定済みで、**民間会社の都合によって、利用料金の改定はできない**



※水道料金、維持管理負担金の総称

## 8. 導入による効果

(1) 民間の創意工夫と技術力で20年間のコスト削減額 約337億円 を実現



(2) 導入効果の活用

① 全国的に水道料金が引き上げられる中、**水道料金の引き下げなどの効果が発現!**

供給単価 1.6円/m<sup>3</sup>、7.0円/m<sup>3</sup> 引き下げ  
(大崎広域水道事業) (仙南・仙塩広域水道事業)



② DX推進による**業務の効率化**

「統合型広域監視制御システム」

各浄水場で個別に行っていた運転の監視や制御を、一元的に実施可能とするシステム

「みやぎ水アセットマネジメント」

24時間常時監視するセンサーを活用し、最適な時期に修繕や改築を行うことで効率的に施設の健全度を維持するシステム

「MDP（水みやぎDXプラットフォーム）」

事業運営に関する情報を一元的に集約・蓄積し、事業に活用するICTシステム



③ 地元雇用率 約240人のうち、93%  
※地元の高校生が、現場見学後2年連続で入社

(株式会社みやぎみずすびサービスみやぎ)



## 9. 事業に対する評価

◆みやぎ型導入後、国や関係団体から高い評価をいただいております

令和5年度水道イノベーション賞  
特別賞 受賞 (令和5年10月)  
【公益社団法人日本水道協会】

受賞理由

- 新規性・革新性
- 官民連携の選択肢を広げたモデル



第7回インフラメンテナンス大賞  
国土交通大臣賞 受賞 (令和6年1月)  
【国土交通省】

受賞理由

- デジタル技術の活用など、民間企業の創意工夫を最大限活用しながら、20年間で337億円のコスト削減



第1回PPP/PFI事業優良事例表彰  
大臣賞 受賞 (令和6年6月)  
【内閣府】

受賞理由

- デジタル技術を活用
- 20年間で337億円のコスト削減を実現
- 多数の地域人材の雇用など地域経済に貢献

